

2005年2月期 中間期の決算を発表

2005年2月中間期決算(連結)

(単位:億円)

	04年2月中間期 実績	2005年2月中間期			
		期初予想	実績	前期比	期初予想比
売上高 (売上比)	1,829 100.0%	2,074 100.0%	2,018 100.0%	+10.4%	2.7%
売上総利益 (売上比)	866 47.4%	962 46.4%	898 44.5%	+3.7% (-2.8p)	6.6%
販管費 (売上比)	474 25.9%	548 26.4%	545 27.0%	+15.0% (+1.1p)	0.6%
営業利益 (売上比)	392 21.5%	413 20.0%	353 17.5%	9.9% (-3.9p)	14.5%
経常利益 (売上比)	391 21.5%	419 20.2%	362 17.9%	7.5% (-3.5p)	13.5%
当期利益 (売上比)	178 9.8%	234 11.3%	213 10.6%	+19.6% (+0.8p)	8.9%

【単体 業績結果】増収減益と期初予想を下回りました

2005年2月中間期の単体業績は売上高1,998億円(前年同期比10.6%増)、経常利益358億円(同9.6%減)となりました。売上高につきましては前年同期比190億円の増加となりましたが、売上高総利益率の低下による影響が大きく、経常利益で同38億円の減少という厳しい結果となりました。まず、売上高についてですが、既存店ベースの実績は、客単価が前年同期比1.5%のマイナスとなりましたが、客数で同3.4%のプラスを確保し、既存店売上高は同1.9%増となりました。店舗数は、計画通りの出店により27店舗の純増となりました(直営店の出店41店舗、閉店14店舗。2005年2月末の直営店舗数は653店舗)。次に、売上高総利益率は44.5%と前年同期比3.0ポイントの悪化となりました。これは、消費税総額表示に伴う値下げの影響や、売上の計画未達に伴う在庫処分などによるものです。さらに、販管費については前年同期比73億円の増加となり、売上高販管費率も同1.2ポイントの悪化となりました。こうした結果、営業利益は前年同期比10.7%減の354億円、経常利益は同9.6%減の358億円、といずれも期初予想を下回る結果となりました。

【連結 業績結果】中国子会社は黒字を達成

2005年2月中間期の連結業績は、売上高2,018億円(前年同期比10.4%増)、経常利益362億円(同7.5%減)となりました。子会社別にみると、英国子会社が3千万円の当期赤字、ナショナルスタンダードが6千万円の当期赤字となる一方、中国子会社は4千万円の当期黒字となりました。また、営業外収益としてリンク・セオリー・ホールディングスの持分法による投資利益4億9千万円を計上しています。

【2005年8月期 配当金】年間配当金は130円で期初予想から変更無し

配当金については、年間の1株当たり配当金130円(中間配当金65円、期末配当金65円)と、期初予想から変更しておりません。

【2005年8月期 業績見通し】

2005年8月期通期の単体ベースの業績予想は、売上高3,718億円(前年同期比10.7%増)、経常利益630億円(同3.1%減)、当期利益360億円(同1.7%増)を計画しております。この業績予想の前提となっているのは、既存店売上高が前期比2.9%増、新店純増が45店舗(出店69店舗、閉店24店舗)です。商品・販売戦略のテコ入れにより売上目標の達成を目指すとともに、売上高総利益率や販管費のコントロールについても徹底してまいります。

連結ベースの業績は、売上高3,880億円(前年同期比14.1%増)、経常利益は639億円(同0.4%減)、当期利益は383億円(同22.2%増)を見込んでおります。なお、この予想には、下期より新たに連結対象に加わるワンゾーンの半期分の業績(2005年3月から2005年8月まで。売上高120億円、経常利益6千万円、当期利益10億1千万円を予想)を織り込んでおります。

(注) IR情報(<http://www.fastretailing.co.jp/ir/index.html>)に決算データなどを開示しております。詳細についてはこちらをご確認ください。